

# 法人会とは？

よき経営者をめざすものの団体。法人会は企業の繁栄と社会への貢献をめざします。

企業の間から自主的に誕生した法人会には全国で 90 万社が加入しています。

正しい税知識を身につけたい。もっと積極的な経営をめざしたい。地域社会に貢献したい。

そんな経営者の皆さんを支援する組織、それが法人会です。

「税のオピニオンリーダー」としての税務行政への協力はもとより、会員企業の経営をサポートする各種の研修会、また様々な社会貢献活動など、地域に密着した活動を積極的に行い、会員企業を始め、広く社会の繁栄を目指した活動を続けています。

## —法人会誕生の経緯—

戦後わが国は「民主主義国家」へと新しく生まれかわり、法人税もそれまでの「賦課課税制度」から、1947 年（昭和 22 年）4 月に「申告納税制度」へと移行しました。

しかし、当時の社会経済状況は極めて悪く、経営者が難解な税法を理解して、自主的に申告できるかどうか危ぶまれていました。このため、「申告納税制度」の定着には納税者自身が団体を結成し、その活動を通じて帳簿の整備、税知識の普及などを図る必要性が生じ、企業の間から自発的に法人会が誕生しました。

## ※申告納税制度とは※

納税者が自ら所得金額や税額を計算し、それに基づいて申告・納税する制度で、納税者が申告したときに納税義務が確定します。

「賦課課税制度」は税務署などの税務官庁が決定して納税者に通知する方法ですが、現在では日本の国税のほとんどについて、「申告納税制度」が採用されています。